

2023年9月21日(木)

株式会社 Mizkan

弊社美濃加茂工場からの処理が不十分な排水の流出についてのお詫びと対応（続報）

この度、弊社美濃加茂工場（岐阜県美濃加茂市あじさいヶ丘一丁目2番地）から処理が不十分な排水の流出があり、地域住民の皆さま、関係者の皆さま、お客さま、お取引先さまに多大なご迷惑とご心配をおかけしましたこと、改めまして深くお詫び申し上げます。

本件について、9月14日（木）に第一報をお知らせいたしました。現在の状況と再発防止策についてお知らせいたします。

尚、当該工場で製造された商品の品質、安全性への影響はございません。

■現在の美濃加茂工場の状況

9月21日（木）現在

排水処理を再開し、工場の早期通常稼働にむけて生産活動を再開しております。

■経緯

9月13日（水）

美濃加茂工場内の施設にて、排水が適切に分離できていないことを確認。可茂県事務所および美濃加茂市の指導のもと、排水を停止。

9月15日（金）

可茂県事務所に状況と措置、今後の対応に関する書類を提出し受理され、提出内容に基づく排水の開始について了解いただく。

9月16日（土）

措置により浮遊物がないことを確認し、排水の放流を再開。24時間監視体制で適切に排水処理が行われていることを確認。

9月18日（月）

一部商品の生産を再開し、排水処理が適切に行えていることを確認。

9月21日（木）

通常稼働にむけて生産活動を再開。

## ■原因と対策

美濃加茂工場では、食品製造時の排水に残っている栄養分を微生物によって吸収・分解したのち、製剤を用いて微生物および食品の浮遊物を小さな塊にして沈殿させ、上澄みだけをろ過し、河川に流しております。

今回、排水処理が適切に行えなかった原因は、納豆商品の生産品種の変化により納豆の原料である大豆の使用状況が変化したことにより、大豆由来の成分の影響で浮遊物が沈殿しづらくなり、浮遊物の混ざった排水が、後工程のろ過機での除去能力を超えたため流出したものと考えております。

現在は排水処理に使用する製剤の種類を変更し、浮遊物の発生をおさえ、上澄みのみを排水でできるように処置いたしました。

通常稼働に向けて引き続き監視を強化してまいります。

また、浮遊物を除去する装置の設置など、万一に備えた対策も進めてまいります。

今後、このような事故を起こしご迷惑をおかけすることがないように、引き続き行政の指導を仰ぎながら万全を期してまいります。

何卒ご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。

改めて、地域住民の皆さま、関係者の皆さま、お客さま、お取引先さまに多大なご迷惑とご心配をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

以上